

ご 案 内



令和6年2月22日
日本地球掘削科学コンソーシアム
新宮市・新宮市教育委員会
和歌山県
南紀熊野ジオパーク推進協議会
国立研究開発法人海洋研究開発機構

国際科学掘削計画 市民講演会 「地球の恵みを知り、災いに備える -和歌山から始まる世界への挑戦-」 開催のお知らせ

和歌山県新宮市は、地球深部探査船「ちきゅう」による南海トラフ地震発生帯掘削時の寄港地となるなど、かねてより国際科学掘削との縁が深く、その活動に関心の高い地域です。このたび、隣接する那智勝浦町での国際研究集会（※1）と連動して、市民講演会を下記の通りに実施いたします。ご多忙の折恐縮に存じますが、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

※1：那智勝浦町での国際研究集会について

国際深海科学掘削計画（IODP: International Ocean Discovery Program）が2024年9月に終了することを受け、欧州と日本が中心となって2025年1月に立ち上げる新たな国際枠組みの準備を進めています。この枠組みのもとで実施する海洋科学掘削の提案に関して議論するため、17か国から約150名の科学者が南紀熊野に集います。（詳細は別紙2参照）

記

1. 日時：令和6年3月20日（水）15:00～17:00
2. プログラム：別紙1参照
3. 場 所：和歌山県新宮市 新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」
和歌山県新宮市下本町2丁目2番地の1

*手話通訳および要約筆記対応あり

*現地での取材をご希望される場合は、会場スペースの関係上、事前に参加者数、テレビカメラの有無等について下記までご連絡ください。なお、取材に際しては、下記のお問い合わせの「報道関係について」までお申し込みください。

4. 入場：無料
5. 講演者：別紙1参照
6. 共 催：日本地球掘削科学コンソーシアム（J-DESC）、新宮市・新宮市教育委員会、
和歌山県、南紀熊野ジオパーク推進協議会、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）
協 力：和歌山県立自然博物館

お問い合わせ先：

（報道関係について）

和歌山県新宮市 新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」
電話 0735-29-7223、Email：bunka-fukugou@city.shingu.lg.jp

（本講演会について）

日本地球掘削科学コンソーシアム事務局
国立研究開発法人海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用部門 掘削計画支援室内
電話 046-867-9894（受付時間：平日9:00-17:30）、Email：jdesc@jamstec.go.jp

地球の恵みを知り、災いに備える

和歌山から始まる世界への挑戦

いま、日本と世界は大きな転換期を迎えています。
南海トラフ地震は確実にやってきます。また異常気象が「異常」
でなくなってきています。

これまで、地球掘削科学は、このような地球規模の課題に大きな
貢献をしてきました。半世紀以上続いてきた、この「国際深海
科学掘削計画（DSDP/ODP/IODP）」があと半年で終了します。

その志を継ぐべく、新たな掘削プログラムを立ち上げるための
国際研究会が、ここ、南紀熊野で開催されます。

これを記念し、講演会を開催いたします。

参加無料！

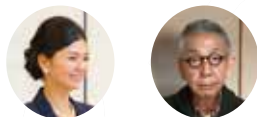
2024 3月20日 水祝

15:00～17:00（14:00 開場）

地震のしくみ 楽しく学ぼう！展示も同時開催！

和歌山県新宮市
丹鶴ホール

司会は私たち！



森 まりか 熊野家三九郎

※手話通訳・要約筆記あり

講演内容

講演① 新たな国際深海科学掘削計画の発足と
国際ワークショップ in 和歌山

講演者：木下 正高（東京大学地震研究所）
益田 晴恵（大阪公立大学）
アンジェロ・カメルレンギ
（イタリア国立海洋物理学研究所）

講演② 海底を掘って手がかりをつかめ！
地球深部探査船「ちきゅう」で挑む
地震・津波調査の今！

講演者：江口 暢久（海洋研究開発機構）

講演③ 和歌山県の温泉と地震
ープレートテクトニクスに起因する
自然の恵みと災害ー

講演者：益田 晴恵（大阪公立大学）

共催：日本地球掘削科学コンソーシアム（J-DESC）、新宮市・新宮市教育委員会、和歌山県、
南紀熊野ジオパーク推進協議会、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）

協力：和歌山県立自然博物館

お問い合わせ：J-DESC (jdesc@jamstec.go.jp)、丹鶴ホール (0735-29-7223)

プログラム

15:00-15:10

主催者ご挨拶（新宮市長 田岡 実千年）

15:10-15:40

講演①

新たな国際深海科学掘削計画の発足と 国際ワークショップ in 和歌山

講演者：木下 正高（東京大学地震研究所）
益田 晴恵（大阪公立大学）
アンジェロ・カメルレンギ
（イタリア国立海洋物理学研究所）

現在の国際深海科学掘削計画（IODP）は2024年9月に終了し、新たなフェーズを迎えます。新しい国際枠組みは日本と欧州がリードして構築準備を進めており、そのための重要な国際ワークショップが、3月18日～20日に那智勝浦町体育文化会館にて開かれます。このワークショップの意義や、行われたことを、日欧のワークショップ主催者が座談会形式でご紹介し、地球掘削科学分野の歴史的瞬間を参加者のみなさまと共有します。

15:40-16:10

講演②

海底を掘って手がかりをつかめ！ 地球深部探査船「ちきゅう」で挑む 地震・津波調査の今！

講演者：江口 暢久（海洋研究開発機構）

紀伊半島は、南海トラフ巨大地震の影響を大きく受けやすいと想定される地域です。「ちきゅう」は南海トラフをはじめとした地震発生帯の掘削調査に取り組み、南海トラフの海底下の動きを監視する機械を設置しており、2024年には日本海溝で地震や津波の痕跡の調査を予定しています。「ちきゅう」のこれまでの歩みと、これらのプロジェクトについてご紹介します。

16:10-16:40

講演③

和歌山県の温泉と地震

—プレートテクトニクスに起因する自然の恵みと災害—

講演者：益田 晴恵（大阪公立大学）

活火山のない和歌山県には古くから有名な温泉地が多くあります。その熱源は紀伊半島の下に沈み込む海洋プレートと関係しています。この講演では温泉湧出をもたらすダイナミックな地球の動きを紹介します。

16:40-16:45

閉会のご挨拶（海洋研究開発機構 理事 倉本 真一）

講師紹介



木下 正高
東京大学地震研究所



益田 晴恵
大阪公立大学



アンジェロ・カメルレンギ
イタリア国立海洋物理学研究所



江口 暢久
海洋研究開発機構

日欧共催国際ワークショップ

Workshop on the future of Scientific Ocean Drilling - Phase 2:

Toward submission of drilling proposals for IODP³

実施概要

1. 概要

ワークショップ名称：Workshop on the future of Scientific Ocean Drilling - Phase 2:
Toward submission of drilling proposals for IODP³

日時：【ワークショップ】2024年3月18日（月）～20日（水・祝）
【エクスカージョン】2024年3月21日（木）～22日（金）

会場：那智勝浦町体育文化会館（和歌山県那智勝浦町）＋オンライン

共催：欧州海洋掘削研究コンソーシアム 科学支援・諮問委員会（ESSAC）、
日本地球掘削科学コンソーシアム（J-DESC）、海洋研究開発機構（JAMSTEC）

開催趣旨：

21 の国や地域が参加し、10 年以上にわたり国際協力を行ってきた国際深海科学掘削計画（International Ocean Discovery Program: IODP）が 2024 年 9 月で終了することに伴い、その後継として、日本と欧州の共同プログラムを立ち上げるための準備が進んでおります。新しいプログラムは International Ocean Drilling Programme (IODP³=IODP-cubed) という名称で、2025 年 1 月の発足を目指しています。

日本地球掘削科学コンソーシアム（J-DESC）と欧州海洋掘削研究コンソーシアム科学支援・諮問委員会（ESSAC）は、この新しいプログラムでどのような科学目的を目指した海洋掘削を行うか、様々な科学掘削提案を創出するための国際科学ワークショップを計画し、その第 1 弾（Phase1）を 2023 年 1 月にオンラインで開催しました。

この Phase1 ワークショップで出たアイデアを元により議論を深めるため、Phase2 ワークショップとして、2024 年 3 月に、現地会場とオンラインのハイブリッドの国際ワークショップを開催します。

その現地会場として、その自然の織りなす景観、世界遺産にも選出された日本独自の文化、さらに地球科学的にも興味深いジオサイトが多数あることなどが決定打となって、南紀熊野が選定されました。

当日は、17 か国から約 150 名の科学者が南紀熊野に集います。

2. 参加登録者数（2月15日時点）

現地参加 146名

オンライン参加* 81名

合計 227名

*オンライン参加はワークショップ終了時（3月20日午前）まで受付予定

所属機関国別内訳

	On-site	Online	Total
Australia	4	4	8
Austria	1	1	2
Brazil	4	0	4
Canada	3	0	3
Chile	1	0	1
China	2	2	4
Czech	0	1	1
France	9	1	10
Germany	11	7	18
Italy	5	7	12
Japan	80	39	119
Korea	4	0	4
Netherlands	1	1	2
New Zealand	1	2	3
Pakistan	0	1	1
Philippines	0	1	1
Spain	1	0	1
Sweden	0	2	2
Taiwan	2	0	2
UK	10	9	19
USA	7	3	10
Total	146	81	227

3. スケジュール (暫定)

日にち	時間 (仮)	実施内容	場所
3月17日 (日)	15-17時	ミニエクスカーション (街歩き)	にぎわい市場
	18-20時	アイスブレイカーディナー	
3月18日 (月)	9-17時	ワークショップ (1日目) AM Plenary session: Updates on IODP ³ planning and new proposal submission guidelines, Review of Phase-1 Workshop, Organize breakout sessions PM Breakout Session 1 Poster Session	那智勝浦体育文化会館
3月19日 (火)	9-17時	ワークショップ (2日目) AM Breakout Session 2: proposal-based Plenary session: Reporting PM Breakout Session 3: proposal-based Plenary session: Reporting & Discussion	那智勝浦体育文化会館
	18時～	レセプションディナー	
3月20日 (水・祝)	9-13時	ワークショップ (3日目) AM Breakout Session 4: Finalization Plenary session: Reporting & Wrap-up Adjourn Report writing by Steering Committee members	那智勝浦体育文化会館
	15-17時 (展示は14時-18時)	市民講演会・展示	
3月21日 (木)	8-17時	エクスカーション (参加任意)	紀伊半島
3月22日 (金)	8-16時	エクスカーション (参加任意)	紀伊半島
	16時半	解散	南紀白浜空港・白浜駅

4. ワークショップ運営・お問い合わせ

ワークショップ日欧合同運営委員会 (共同議長: 木下正高、Angelo Camerlenghi)、
日本地球掘削科学コンソーシアム事務局

iodp3ws_loc@jamstec.go.jp